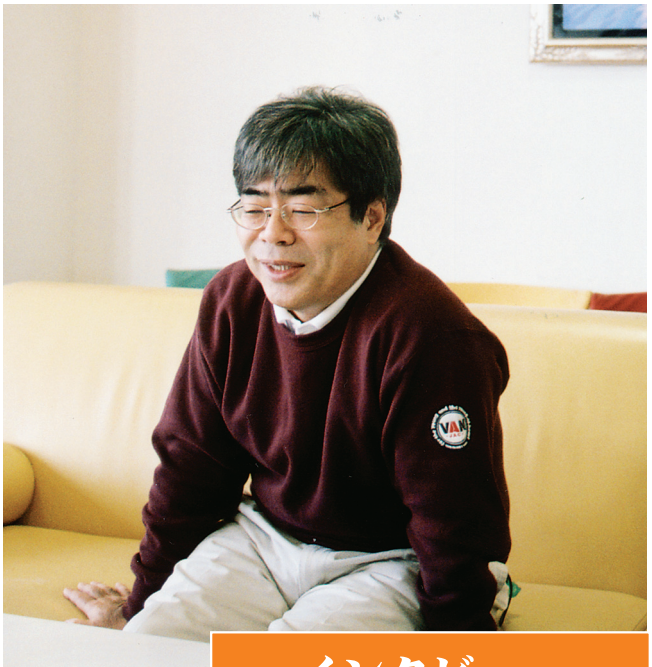
学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588東京都豊島区目白1丁目5番1号
電話03(3986)0221内線2607
http://www-ce.gakushuin.ac.jp/press/
press@gakushuin.ac.jp
発行・編集人　北岡恵子
年間500円

思いたったときが大切

インタビュー 本学OB 俳優 小倉久寛さん



小倉久寛さんは、舞台、TV番組、CMとあらゆる場面で活躍されている俳優だ。誰もがその個性的な存在感と、飾らない魅力にひきつけられる。そんな小倉さんだが、では一体どんな学生生活を送っていたのだろうか。学生時代から、充実した日々を送っていた小倉さんだったが、本学で学んだことは、なにも勉強だけではなかったようだ。しかし、彼が学生時代にやってきたことと、何ひとつ無駄なものはなかったという。小倉さんの現在の幅広い活動の原点は、この辺りにあるようだ。

大学時代は演劇と無縁

現在、個性派俳優として大忙しの小倉さん。「大学時代から演劇一筋だったのでは」と思う人も多いかもしれないが、意外なことに大学時代にほとんど演劇と出会っていなかったそうだ。

「大学では、空手道部と陶芸部に入っていました。コメディーなどを見るのは好きでしたけど、演劇が特別好きだったというわけではなかったですね」

小倉さんは大学時代、何が特別な目的を持っていたわけではなく、ごく普通の学生だった。部活動を選んだのも深い理由はなかったようだ。

「空手道部に入ったのは、高校時代に流行った『空手バカ一代』という漫画の影響からなんです。陶芸部に入ったのは本当に偶然。たまたま学内で、高校の同級生バッタリ会ったんです。そこで『おまえ、何の部活に入ったの』と聞いてみたら、『陶芸部に入った』と言うんですよ。しかもこれは字が多く男子の少ない部活だということで（笑）それで、彼に連れられて入りました」

思い出の日々

小倉さんは学生時代、アルバイトや部活動に明け暮れていたそうだ。それはその後の芸能生活でどう生きたのだろうか。

「空手部には、体を動かすアクションシーンがふんだんにあります。そこで、空手の経験がとても役に立ちました。舞台で、空手の型をやったこともありました。あと学生時代の話をするときに、陶芸部で作った皿を空手道部で割ったという話がケッサクでね。本当は、陶芸部で瓦なんか作ってませんでしたけど」

また、小倉さんは空手道部で忘れられない経験をした。

「1年のとき、空手道部の夏合宿に初めて行きました。そのときOBがたくさん来ていたんです。練習中にそのOBがまた体のできていない1年生に、稽古を厳しくつけ過ぎてしまったようで、同級生の1人が、ダウンしてしまったということがありました。次の日の朝、体育館に行ってみると主将が倒れていました。後で聞いたら、主将がOBを集めて、『やめてください。私のかわいい後輩ですから』と言ったらしい。それで、怒ったOBに『稽古をつけられていたようんんです』と言ったらしい。それで、怒ったOBに『稽古をつけられていたようんんです』

最近は会っていないそうだが、このときの主将は現在でも、小倉さんが最も尊敬している人の1人なのだそうだ。小倉さんとって、かけがえのない大切な出会いがあった大学時代、それは、小倉さんの心の中で今でも輝きを放ち続けている。

大学時代の小倉さん（後列左から2番目）

もう1人の尊敬する先輩

小倉さんは大学卒業後、すぐに三宅裕司さんと出会い、スーパー・エキセントリック・シアター（以下SET）の旗揚げに参画する。

「『ちょうど就職活動をしようというとき、オイルショックが起きて状況が変わってしまったんです。先輩たちはみんな一流企業に入っていたんですけど、急に就職が難しくなってしまいまして。そのときどうしようかなと考えているとき、ちょうど『俺たちの祭』というドラマがやっていました。中村雅俊さん演じる主人公が、劇団に入りバイトをしながら生きている人の話で、そのドラマを見て劇団に入ろうと思ったんです。30くらいまではあいまいだと思って。どんな劇団があるかと『ぴあ』で探していたら、『大江戸新喜劇』の旗揚げ公演というのが目に飛び込んできました。それはSETの前身で、三宅裕司さんが主演でした。その公演を見て非常に心を動かされ、すぐにオーディションを受けて『大江戸新喜劇』に入れてもらったんです」

その後三宅さんを座長として劇団SETを旗揚げし、小倉さんは劇団が大きくなっていくのを目の当たりにしてきた。

「入って1、2ヶ月で、すぐに初舞台を踏みました。その当時は、お祭りのような感じでしたよ。大学祭のような。今では、義務感のようなものが生まれているけど、最初はプレッシャーもありませんでした。あ、当時は体力がありました。芝居の後、朝まで飲んだ。タクシーなんかに乗るお金はなかったから、始発まで飲みました。その後劇団で活躍しますよ、またまた小さな劇団でしたけど、当時はすごく希望が持てましたね。三宅さんは、この人についていけば大丈夫だと思わせるような人ですから。お客さんも少しずつ増えていって、手ごたえを感じましたね」

才能の開花

小倉さんは、そのうち個性派俳優として人気を獲得し、舞台に加えテレビでも活躍するようになる。

「憧れだった萩本欽一さんと、20年前に番組をやったときは楽しかったですね。公開番組で大変でしたけどね。なにしろパワーがすごかった。打ち合わせで、1時間もじっと考え込んでるんだから。だけど、やっぱり舞台の方が楽しいですね。お客さんの反応が直に見られますから。つらい舞台も、楽しい舞台もありますけど。今思うと、劇団選びがよかったんでしょうね」

自らの役者人生について、熱く語る小倉さん。そこからは、本当に役者という仕事を楽しんでいることが見てとれる。

若いときはいろいろなことに

小倉さんは、自らの職業を「学生生活の延長のようなもの」と言う。しかし最近、自らの年齢についてよく自覚するそうだ。

「大学時代の友達が、『もうすぐ定年になるんだ』と言うんです。学生の頃は、未来は限りがないと思ってました。でも、最近限りが見えてきた。頭は、若いつもりでいるんですけどね」

だからこそ、限りない未来を見ていた本学での日々を、共に過ごした仲間のことは忘れられないのだろう。

「陶芸部の友達とは、この前も会いましたよ。学習院には、何年か前に『ぶらり途中下車の旅』というテレビ番組で行ったきりですけどね」

一方で、小倉さんは大学時代に対しての後悔も語る。

「30・40代になって、学生に戻りたいと思うときがあるんです。大学時代にいろんなことをやっときゃよかったなあって。勉強にしてもそうです。勉強はさっぱりとした方がいいですね。あと優は、大学祭だけで楽しそうにギターをやっていたクラブがあったも、やりたいと思っただけで来てしまった。思ったときはすぐやるべきですね」

誰にも、一生に一度しかない大学時代。それは単なる通過点では決してないのである。

PROFILE

◇小倉久寛（おぐら・ひさひろ）
◇1954年10月26日生まれ
◇三重県出身
◇A型
◇1978年本学法学部政治学科卒
◇卒業後、大江戸新喜劇に参加。1979年、三宅裕司を座長として劇団SET（スーパー・エキセントリック・シアター）を旗揚げ。その後も舞台に限らず、TVドラマ、バラエティー番組など活動範囲をひろげ、様々な方面で活躍中。
劇団SET公式HP　http://movie.nifty.com/set/

現在の主な出演番組

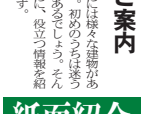
- テレビ朝日
  「いまどきごはん」
  毎週（日）
  18：00〜18：30
  （ナレーション）
- スカイパーフェクTV
  キッズステーション
  「ピアブーランド」
  隔週（火・木）
  8：00〜8：30
  隔週（日）
  8：30〜8：57
- テレビ東京
  「ペット大集合！
  ポチたま」
  毎週（金）
  19：00〜19：54
  （ナレーション）

2・3 学内をご案内
学内には様々な建物があります。初めのうちは迷うことあるでしょう。そんなときに、役立つ情報を紹介します。

紙面紹介

4 目白タウンマップ
名店ろいの目白の街から、とっておきの4店（お「まけつき」を厳選しました。きっと、あなたのお気に入りが見つかるはず。

芸術のある風景



3月末日・歌舞伎座
18代目中村勘三郎の襲名興行で、大いに賑わった。人から人へと伝承されてきた歌舞伎。時代を超え受け継がれるそれは、生きる芸術である。（鳳）

直筆サインプレゼント

インタビューの終わりに小倉さんにサインを書いていただきました。そこでその直筆サイン色紙を抽選で1名様に贈呈いたします。ご希望の方は、お名前、学籍番号、電話番号、Eメールアドレス、本紙へのご意見・ご感想、小倉さんへの熱い想いを明記の上、編集室（教育会館316号室）、または当社メールアドレス（press@gakushuin.ac.jp）までご応募ください。（応募締め切り：4月末日）当選発表はこちらから当選者への連絡をもって代えさせていただきます。ご応募お待ちしております。

明窓浄机

「時間を大切にしよう」とは、よく聞く台詞だ。ごもっともである。人生に限りがあるのは誰もが承知のはずだ。日々の生活をより意味のあるものにするには無駄を省かなければならない。では、無駄とは一体何だろうか▼中高と片道電車で1時間、徒歩で約30分の通学をしていた。これを「無駄な時間だ」と思う人がいるかもしれない。実際全自身、通いながらよく思ったのだ。だが振り返れば、その時間は決して無駄ではなかった。車内ではよく本を読んだ。そして本から多くのことを学び、考えた。そのような習慣は、やがて私の哲学系を選ぶ一因となっていた。このようなことはしかし、今になってようやく気づくことだ▼人は無駄な効率よく生きようとする。そのように生きていくには、先を考えて今を大切にするしかないが、何が無駄かなどは終わってみなければ分からない。無駄だと思ったことが明日の自分を変えるかもしれない。そう考えると毎日の些細なことが輝いてこないだろうか▼新入生の諸君は、大学という新しい環境の中でこれからの4年間を過ごす。そんな中で冒頭の台詞を聞き、計画的に物事を進ぼうとする人も多いだろう。しかし時間を大切にしようとしすぎて、やみくもに無駄を省こうとせず、日々ひとつでも多くの輝く「無駄」と付き合ってほしい。（樗）

快適な新校舎
西2号館

2002年11月に完成したばかりの西2号館。学内で最も新しい建物です。そのため、授業で使う2階から5階にある教室はとても綺麗。しかし、それ以上にトイレの清潔さには驚かされることでしょう。

この建物は、外観だけではなく機能も充実しています。通常授業で使われる教室のほか、実際の法廷にいるかのような模擬法廷教室、映画上映が可能な遮光・音響効果に優れた映像教室、マルチメディアを駆使した双方向教室などもあります。館内の教室の総数は23部屋にのぼり、どれも使いやすいものとなっています。

また、1階にはパソコンが設置された自習室などもあり、非常に便利です。ただし、利用者が多いのでパソコンを使いたいなら、他の場所に行ったほうがいいかもしれません。そして、ソファが置いてある学生ホール。ここは、食事をしながらおしゃべりをしている学生が多いようです。

学内にある唯一の本屋、成文堂書店。これも西2号館1階にあります。ここでは、授業で使う教科書や参考書を揃えることができるほか、語学の辞書を購入することもできます。また、その他の一般書籍も数多く扱っているので、幅広く活用できるはずです。教科書は売り切れになることもあるので、早めに購入してしまいましょう。

ところで、実はこの建物には地下があります。しかし、館内からは地下へ行けません。地下へ行く際には外にお回りください。地下への入り口は西側の外階段か、黎明会館脇の坂を下りると左手にあります。扉は2つあり、右側は保健室、左側はトレーニングルームに通じています。

学内で具合が悪くなったときや怪我をしたときは、保健室で応急処置をしてもらえます。また、学校医、看護師らによる健康相談も行っています。皆さんも体調が悪くなった際には、保健室を利用してみるのもよいでしょう。ただし、その際には1つ注意することがあります。保健室は土足厳禁ですので、必ずスリッパに履き替えて入室してください。

さて、トレーニングルームについてです。この部屋へ入室するには、階下の管理室で学生証を提示しなければなりません。また、実際にトレーニングルームを利用する場合は講習会を受ける必要があります。講習会を受講すれば無料で使用できますが、講習会や授業などを行っている時間には入室できません。なお、講習会の申し込みは管理室でどうぞ。


最新設備が揃っています

トレーニングルームの設備の方はと言うと、室内ランニングコースや有酸素運動系のマシーン、各種筋トレマシーンなどがあり、目を見張るほどの充実振りです。そのためか、早朝や昼休みにここで体を鍛えている学生も多い様子。大学生は運動不足になりがちですから、皆さんもここで汗を流してみてはいかがでしょう。更衣室とシャワー室も備えられているので、誰でも安心して運動することができますね。

西2号館は授業だけでなく、パソコンや書店など、利用用途は人によって様々です。皆さんも頻繁に出入りする事になることでしょう。だからこそ、早く構造を覚えてしまうのが得策。西2号館を使いこなせれば、あなたも立派な本学の学生です。（嶋先伸人）

食生活を助けます
輔仁会館

輔仁（ほじん）会館には様々な種類の食事処が集まっています。「カフェテリア杜」、「ヌードルコーナー」、「さくらラウンジ」の3つです。

1階にある「カフェテリア杜」では、各種ランチや丼物などが手頃な値段で揃っています。焼きたてパンやアラカルト（一品料理）も販売しているので、財布の中身を気にせずに楽しい食事ができるでしょう。また、時間によってはクレープを買うこともできます。おやつに食べてみては?

さらに2階へ行くと、「ヌードルコーナー」があります。うどん・そば・ラーメンといった各種麺類が豊富です。夏には冷やし中華もメニューに加わるので麺を食べたい人は要チェックです。

「さくらラウンジ」は、その「ヌードルコーナー」の奥にあります。お茶を飲んでおしゃべりをするのに最適の場所です。また、落ち着いた雰囲気が好きな人にもピッタリで、静かに過ごせること間違いなしでしょう。


お昼ごはんは輔仁会館へ

輔仁会館には、これらの学食以外にも食事をする方法があります。それは、輔仁会館入口にある「テイクアウトコーナー」です。ここではお弁当が買えますが、どのメニューも大人気なので、いつも完売してしまいます。また、14時以降はソフトクリームも販売しているので学生たちには好評です。

そして、「ローソン」。皆さんがご存知のコンビニであるローソンが同館2階にあります。一般的なローソンとほとんど変わりません。安心して利用することができますね。ただし、学内にあるため、24時間営業ではないのでご注意を。

輔仁会館にあるこれらの食事処は、昼休みになると非常に混みあいます。好きなものを座ってゆっくり食べたい人は、早めに食堂に向かいましょう。

この他「蓁々（しんしん）会の大学売店」がローソンの向かい側にあります。勉強に必要な文房具類はもちろんのこと、生活用品までも揃えることができます。また、電子辞書や携帯電話なども取り扱っているので大学生活で必要なものを手に入れることができるでしょう。そして、ここでは学習院オリジナルグッズも販売しています。大学生がよく持ち歩いているクラッチバックもここで購入することができますよ。

輔仁会館は、日々の生活の上で欠かすことのできない場所です。楽しい毎日のために、1人でも、友達とでも、気軽に訪れてみてはどうでしょう。（嶋先伸人）

部室を覗こう
黎明・富士見会館

大学生活を充実したものにしたい。そのために部活かサークルに入ろう。そう考えている人は多いはず。

あなたのサークル選びの決め手は何ですか? 面白そう、興味をそそるなど様々でしょう。でも忘れてならないのは居心地のよさ。団体の雰囲気を知るには部室を覗くのが一番です。

ということで、向かうは西2号館隣、部室が集結している黎明会館です。輔仁会館側から足を踏み入れると、そこは2階。不思議に思うかもしれませんが、実はこの建物、坂の上に建っています。だから1階を地下のように感じるのです。

それさえ知ってしまえば、黎明会館は攻略したも同然。もう迷うことはありませんね。気になる団体数はというと、隣接する富士見会館と合わせて約130。じっくりと吟味したいものです。ちなみに黎明会館の開館時間は6時～22時半です。休日でも人の波は絶えません。

そして黎明会館を突っ切ると、目の前にあるのが富士見会館です。富士見会館ホールを始め、和室、集会室、道場、アトリエ、弓道場、陶芸窯場など、様々な施設が揃っています。黎明会館同様、まさに課外活動のためにある建物です。

新歓期には諸団体から勧誘の嵐が続きます。勧誘はされたいけれど、人込みは辛い。そんな方は、最初から館内をうろつく手があります。もちろん気になるところに自ら乗り込むのもありですよ。え? 大学新聞社に興味があるって? それならば黎明316へどうぞ。社員一同、お待ちしております。（平峯さとみ）

便利な機能満載
西5号館

事務手続きや授業を始め、様々な用途で利用される建物は何でしょう? それは「ニシゴ」と略称されて親しまれている西5号館です。「本部」とも呼ばれており、大学の中核を担う部署が集まっています。中でも、私たち学生に馴染み深いのは4階の学生部でしょう。例えば、学生証を紛失してしまったとき。学生証がなければ試験も受けられませんし、図書館で本を借りることもできません。そんなときは学生部へ行きましょう。2000円の手数料で再発行が可能です。また、カウンター前には証明書自動発行機があり、学割証や各種証明書を簡単に手に入れられます。

そして3階、2階、地下1階は教室となっています。各教室にはAV機器が備わっているなど、設備も完璧です。広さは国際会議も開催可能なほどだとか。

1階は学生で賑わう学生ホール。授業の合間の休憩や、友人との待ち合わせ場所にも丁度いいでしょう。ただし禁煙なのでご注意を。隣には喫茶コーナー「カフェ・ラ・スリゼ」があります。講義後にコーヒーを片手にのんびりするのもいいですね。

ホールを抜けた先には、東京三菱銀行のATMがあります。利用時間は、平日9時～18時、土曜9時～15時。取り扱いはカードのみとなっています。また、掲示板の向かいの入口は2階にあるコピーコーナーへつながっています。試験前に重宝しますね。ただし、その混雑ぶりは人気ラーメン店並みなのでご注意を。

入学から卒業までお世話になる西5号館。この校舎があなたの学生生活を快適にしてくれることでしょう。（平峯さとみ）

履修ってどう組むの?

大学では自分の好きな授業を取ることができます。時間をどう使うかはあなた次第。どうせなら、その時間を有効に活用したいですよね。そのためには履修を上手く組むことは必須でしょう。鈴木くんもそんな新入生のひとり。そこで、2年生の渡辺さんと田中くんに相談しているようです。

◇　◇　◇

渡辺—鈴木くん、入学おめでとう。そうだ、履修はちゃんと組めた?

鈴木—それが、いまいち履修の組み方がよく分からなくて…。

田中—誰でも初めはそうだよ。

渡辺—それに、科目もいろいろありすぎて悩んじゃうのよね。

鈴木—先輩たちは、どうやって決めましたか?

渡辺—私は興味がある科目を履修してみたの。興味があれば講義もちゃんと聴くでしょ? それなら自然に成績もよくなるし。

田中—俺は、単位が取りやすい授業を優先して選んだな。取得できる単位は同じでも、科目によって単位が取り易いものと、取り難いものがあるからね。

渡辺—そういう情報を得るためにも、部活やサークルをまわって教えてもらうのが一番よ。私は2、3の団体をまわったわ。多くの情報を得て、よりよい履修を組むためにね。

田中—新歓期間中は、どこの団体でも喜んで丁寧に教えてくれるからな。1人で履修を組んでいると、卒業単位に入ると思って選んだ科目が、実際には入らなかったということもあるし。

渡辺—そうそう。学科によって単位にならないものもあるからね。

田中—あと、履修届けを提出するまでの期間に、実際に面倒でも多くの授業に出てみるといいよ。

鈴木—え? 履修登録前に授業に出られるんですか?

田中—そうだよ。シラバスを読んだだけじゃ授業の雰囲気は分からないだろ? 履修した後に、こんなはずじゃなかったってことにならないようにね。

渡辺—それと、語学みたいに初回の授業に出席しないと履修できない科目もあるから注意するのよ。こういう情報は、ちゃんとシラバスに載っているから見落とさないでね。

鈴木—それは気を付けなければいけませんね。ありがとうございました。今から部活やサークルをまわって、履修に関する情報を集めてきます。（菫）

パソコン利用案内
設置場所紹介

学内では、情報収集やレポート作り、など様々な目的で学生がパソコンを使用しています。大学生活にパソコンは必要不可欠なものです。

ただし、学内にあるパソコンを利用するには、ユーザー登録をしなければなりません。登録するには、初等情報処理1か情報処理入門1の授業を履修してください。その教科の単位を修得すれば、卒業まで自由に使うことができます。また、計算機センター利用認定試験に合格した学生も、同様に使用が可能です。

パソコンは至るところに置かれています。では、一つずつ紹介しましょう。

まずは計算機センター。ここは、学内で最も利用者が多い場所です。4つある実習室にはプリンタもあり、有料ですが学内唯一のカラープリンタも備えつけられています。

続いて西2号館。ここも頻繁に学生たちに使われている場所です。1階の自習室とエスカレーター脇のサービスコーナーに設置されています。また、自習室にはプリンタと画像編集コーナーもあります。

学内では法経棟と呼ばれている東2号館。ここにあるコンピュータ室は主に法学部と経済学部の学生に利用されています。ただ、プリンタが1台のため、順番待ちすることもしばしば。

東1号館2階にある実習室のパソコンとプリンタも使えます。8時半に開室するので、1時限前に印刷したい場合は、ここを利用するとよいでしょう。

大学図書館にもパソコンはありますが、プリンタはありません。また、西1号館の教室にあるパソコンも開室中の札が扉にあれば使用可能。さらに南3号館と西2号館にもパソコンのある教室がありますが、授業専用です。

注意すべき点として、学内のプリンタで同一文書の印刷はできません。複数枚印刷したい場合は、西5号館中2階のコピーコーナーやローソンのコピー機をお使いください。

何かと使う機会の多いパソコン。学内にあるものはふんだんに利用してしまいましょう。（嶋先伸人）

季節感じる
血洗いの池

「血洗い」という、いかにも曰くがありそうな名前のこの池は、黎明会館の裏階段を下ったところにあります。その名前にまつわり、以下の話が伝えられています。赤穂浪士の1人として知られる堀部安兵衛は、「高田馬場の決闘」で義叔父・菅野六郎左衛門に助太刀しました。その後、安兵衛はこの池で血糊のついた刀を洗ったとされ、そこからこの池の名がついたといわれているのです。

しかし、この話は真っ赤なウソ。実は、大正時代後期に作られた創作です。当時の学習院高等科の文学青年たちによるもので、創作話のひとつがこの血洗いの池の話という訳です。教育が個性や自発性を伸ばすものに移行し始めた、大正デモクラシー吹き荒ぶ時代の息吹を感じる逸話ですね。


四季折々の風景をあなたに

名前から、暗くじめじめした場所を想像されるかもしれません。しかし、実際は日の光がよく当たり、見晴らしのよい所です。また、春は桜が咲き乱れ、夏は青々と葉が茂り、秋には辺り一面紅葉に彩られるといったように季節の移り変わりを感じることができる場所です。さらに、池を覗けば鯉たちが気持ちよさそうに泳ぐ姿が見受けられ、とても都会の一角にあるとは思えません。そして、池の周りは道が整備されていますので、散歩にはもってこいでしょう。

このように、血洗いの池はその名の恐々とした印象と異なり、安らげる場所です。学生が息抜きに訪れたり、学内カップルがデートスポットとして利用したりと、密かに人気。取材日にも複数のカップルが愛を確かめ合っておりました。

そうそう、人は恋をすると時に理屈に合わない行動をとることがありますが、決して池に飛び込まないようにしてくださいね。「池に入れば始末書、溜まれば退学」という噂がありますから。お気をつけくださいまし。（原泰一郎）

ウマ発見!
うまや・馬場門

本学では他大学であまり見られない光景を見ることができます。そのひとつが、馬場がある、つまり馬がいるということです。本学は23区内の大学で唯一学内に馬場があることでも知られています。

しかし、周りを見渡しても馬場など見つかりません。いったい学内のどこに馬場があるのでしょうか。

馬場・厩舎は高田馬場方面からの出入口、馬場門を入ってすぐのところにあります。駅から最も近い西門から馬場に向かうには、本学の最南端を目指し、うっそうと生い茂る森をぬけなければなりません。そして馬場の隣にはひっそりとうまやが佇んでいます。

馬たちは木々に囲まれながら、のびのびと生活しています。馬の目はやさしく、見ているこちらまでおだやかな気持ちにさせてくれるでしょう。ときどき馬が柵の近くまで寄ってきて、急に馬の顔が目の前に現れたりします。はじめは驚くかもしれませんが、頭をなでてあげると嬉しそうに尾を揺らしてくれますよ。


見ていると和みます

そんな馬たちの世話をしているのは、馬術部の部員たちです。馬術部は120年にもわたる歴史を持つ、伝統のある部活です。馬という生き物を相手にするスポーツなので、部員たちは毎日早朝から大学に来て馬の世話をし、練習をしています。「馬と共に生活する部活」といっても過言ではないでしょう。

馬が見てみたい、触ってみたいと思ったときは、ぜひ馬場に行ってみてください。そうすれば、馬たちもきっと喜んで迎えてくれますよ。（安孫子友香）

入学式はこの建物
百周年記念会館

本学正門から続く美しい桜並木。舞い降りた桜の花びらで彩られた道に沿って歩くと、右手の方向に百周年記念会館があります。

正式名称は、「学習院創立百周年記念会館」。その名の通り、明治10（1877）年の学習院開院から100年目にあたる昭和52（1977）年に、百周年記念事業として建てられました。

本学の入学式と卒業式は、この百周年記念会館で行います。つまり、ここは大学生活の出入口。この場所から、本学の学生としての生活が始まります。

百周年記念会館の用途は様々。主な例を挙げると、まず4月に開催される「オール学習院の集い」。この行事は、学習院と冠する組織の在校生やOB・OGが集まり交流する行事です。この行事で百周年記念会館は、主に音楽祭を開催する場として使用されます。昨年は、幼稚園生の合唱からOB管弦楽団による演奏まで幅広い演目が披露されました。

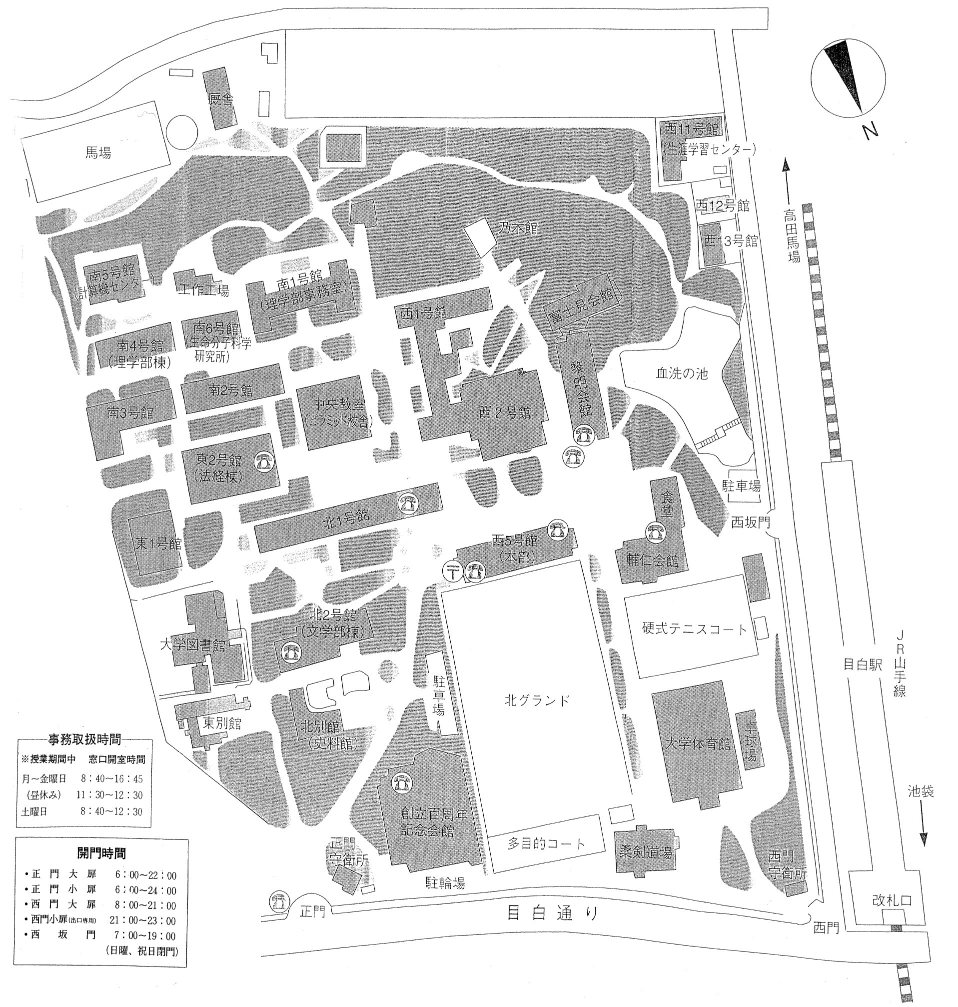

1年通して八面六臂の大活躍!

秋の大学祭ではミス学習院コンテストを開催する場、ミュージシャンを招いて、ライブを行う場として使われます。前者は歓声と拍手で、後者は地鳴りと手拍子でこの建物のホールがいっぱいになり、一年間で最も盛り上がる時期と言えるでしょう。

また、授業の一環として使われることもあります。例えば、昨年10月「総合基礎科目ヨーロッパ世界」を担当している先生と受講している学生がコンサートを開き、美しい声と演奏で聴衆を惹きつけました。

他にも総会、講演会、OB会、部活・サークル活動など多目的に使われています。学生生活に欠かせない行事を催し、また学内・学外の方が各々の活動に使用する場所なのです。

百周年記念会館は、そこで行われる行事や催し物によって雰囲気が変わります。あなたも何色かに染めてみてはいかがでしょうか。（原泰一郎）



事務取扱時間

※授業期間中	窓口開室時間
月～金曜日	8：40～16：45
（昼休み）	11：30～12：30
土曜日	8：40～12：30

開門時間

・正門大扉	6：00～22：00
・正門小扉	6：00～24：00
・西門大扉	8：00～21：00
・西門小扉（出口専用）	21：00～23：00
・西坂門	7：00～19：00

（日曜、祝日閉門）

レポート作成の頼れる味方
計算機センター


遠いけれど充実の設備

数多くのパソコンが設置されている計算機センター。ここには毎日多くの学生が訪れます。

この建物には1、2階合わせて4つの実習室があります。ここで注意しなければならないのが、入口のあるフロアは1階ではなく2階ということです。間違えて3階には行かないように。実習室には多くのプリンタや、スキャナなどの機器があるので、パソコンを使用する環境は十分です。

そんな充実した設備を誇る施設であるものの、奥まった場所にあるので行くまで面倒なのが欠点。ですが、ここは他の設置場所が混む時間帯でも空席があるというメリットもあります。

「パソコンは詳しくないから自分にはあまり縁がないかな」と思ったそこのあなたも心配はありません。開室時間中はインストラクターの方が常に待機しているので、安心して利用してください。（新原大輔）

科学の結晶
中央教室

中央教室は、学生証にも描かれているように、本学の象徴です。その形から、学生は親しみを込めてピラミッド校舎（ピラ校）と呼んでいます。ピラミッド校舎と呼ばれていてもエジプトのそれとは異なり歴史は浅く、建設されたのは1960年と、僅か45年前。日本で初めてのピラミッド建築でした。

この建物は、見た目が変わっているだけではなく、実用性にも優れています。中央教室は、縦25メートル、横30メートルの巨大な教室。普通、これだけ大きい建物だと、建物内部に柱を何本も立てなければなりません。しかし、ピラミッド型にするとその必要がなくなります。すると、学生が柱によって視界を奪われることがないという利点があるのです。


座席数700は本学最大!

また、中央教室には「建物の下に初代院長が眠っている」、「登ろうとして捕まると始末書を書かされ、溜まると退学」という噂があります。もしかしたらということもありますので、確かめてみせるという探究心は、勉学の方へ取っておきましょう。（原泰一郎）

様々な知識の宝庫
図書館

大学生になればレポートを書くことが多くなり、図書館を利用する機会も自然と増えてくるでしょう。学内には多くの図書館があり、学生生活に欠かせない存在となっています。

中でも学部学科を問わず、多くの人が訪れるのは大学図書館。貸出は10冊までで、自動貸出機を使って借りることもできます。これは1階に設置されている機械のことです。学生証があればカウンターを通さず、セルフ・サービスで気軽に本を借りることができます。

また、所蔵図書が大学図書館に次いで多いのが、東2号館5階にある法経図書センター。法経と名はついていますが、他学部の学生にも開放されています。ここでの貸出は図書5冊、雑誌2冊まで。返却期限は、大学図書館、法経図書センターともに図書2週間、雑誌1週間です。うっかり忘れてしまわないように気をつけましょう。


閑静な雰囲気が漂う

探している本が見つからないという場合も心配ありません。学習院女子大学図書館から本を取り寄せられるというサービスもあります。また、四大学協定校、山手線コンソーシアムで提携している他大学の図書館で探すことが可能。これらを最大限に活用すれば、きっと多くの知識を得ることができるでしょう。（新原大輔）

未来を切り開く君たちへ
～4学部長寄稿～

4学部長より、新入生の皆さんにお祝いのお言葉をいただきました。

◇　◇　◇

文学部長
福井　憲彦教授

「生きる指針を見出して」

大学は、高校までとは違った学びの場です。主役は皆さん一人一人、御仕着せのメニューを消化するのではなくて、皆さんが自主的に問いを立て、自分自身の手で調べ考え、解答を探求する。先行き不透明といわれる現代世界にあって自らの足でしっかり立ち、先を見つめ考え、生きる指針を見出していく。文学部での学問とはそういうものではないか、と私は考えています。

皆さんは、今日からその学問の仲間です。各学科では1年目の皆さんに、基礎演習など導入の授業が用意され、学科それぞれの勉強の仕方、いわば学問の作法を身につけるための入門が始まります。玉も磨かなければただの石ころです。どうぞみずからの力にいっそうの磨きをかけられますように。

◇　◇　◇

理学部長
藤原　大輔教授

「真理を身につける」

新入生の皆さん。ご入学おめでとうございます。

これからの4年間は人生で最も束縛が少ない、自由のきく貴重な時期になろうかと思います。それだけに、何事も皆さん自身の判断と責任で過ごすことになります。

理学部に入学した諸君は、4年後には自然科学の本格的な素養を身につけた職業人として、社会に迎えられることでしょう。自然科学を本格的に学ぶにあたって、主体は諸君自身です。どのように時間を使って、どのようなことを、どのように学ぶか。ただ提示されたことがらを受身に受け入れるのではなく、疑い、自分の手を使って確かめ、自分の頭で推論し、解決することを通じて、真理を身につけることにしたいものです。私達はそれを手助けします。

4年間は長いようで短い。工夫して、有効に楽しく、この時間を使っていただきたいと思います。

◇　◇　◇

法学部長
井上　寿一教授

「学内で学びの拠点を」

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんが法学部の仲間たちと一緒になる日を、指折りかぞえて待っていました。歓迎します。

法学部では、学生は自分の夢や希望、目標を実現するために、仲間たちとともに、学習しています。私たちはそれを積極的にサポートしています。

入学後は最初に、学内で学びの拠点を作ってください。東2号館の自習室、法経図書センター、図書館など場所はいくつもあります。次に、規則正しく授業に出席し、日々の学習を通じて、自分の夢や希望、目標は何なのかを確かめながら、その実現に向かって、前進しましょう。そうすれば、大学という自由な空間のなかで、自己を見失うこともありません。きっと充実した学生生活を送ることができます。期待しています。

◇　◇　◇

経済学部長
杉田　善弘教授

「与えられた自由を生かす」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはもう大学の自由な雰囲気を感じとり、楽しみ始めているのではないかと思います。

実際、大学には自由があふれています。授業科目ひとつをとっても、学生が履修する科目の選択には大きな自由が認められています。もちろん、一定の制限はありますが、選択の幅は高校時代とは比べ物にならないと思います。逆に、強制されることの少ない自由さに負けて、何もしないまま学生時代を過ごしてしまう危険も大きいことを覚えておいてください。

皆さんに与えられた自由を生かすためには、自分から積極的に行動して、興味のあることを見つけていくことが必要です。興味のあることをやっていくうちに、もっと興味のあることが見つかり、学生時代に私はこれをしたと言えるようになるでしょう。期待しています。

◇　◇　◇

新入生の皆さんは、これからの大学生活に対して不安と期待を持っていることでしょう。しかし、何事もまずは体験してみることです。自分で考えて行動し、その経験から様々なものを得て、本学での学生生活を豊かで実りのあるものとしてください。（朝）

学内の隠れた名所
北別館・東別館

学内には2つの別館があります。しかし、そこは学生が主に利用する西門から離れているため、存在すら知らない人も少なくないでしょう。そんな別館ですが、実は近代建築として歴史的に価値があるのです。早速見ていきましょう。

正門の奥に佇むように建っている木造の白い洋館。これが北別館です。明治42年に図書館として建設され、昭和50年に史料館、同60年に博物館相当施設に指定されました。現在の収蔵史料は、17～19世紀の大名家文書や農村文書、近現代史料を中心に約10万件。学内外問わず、調査、研究活動にも利用されています。


時代感じる北別館（右）と東別館（左）

その成果は刊行物の発行や常設展、特別展を通して公開しています。ただし、公開場所にはご注意を。展示室はすぐ側の北2号館1階です。年3回開催される、史料館講座も注目です。この講座では最新の学術成果の解説が行われています。無料で受講できるので、気軽に参加できますね。

館内には学芸員資格取得事務室と博物館実習室があります。学芸員資格に関する業務はここです。閲覧室もあり、マイクロフィルムを見ることもできます（要予約）。

そして、大学図書館に隣接する独特の雰囲気を醸し出す建物。立入禁止なのでは、とさえ思わせますが、これは東別館という現役の校舎です。この木造2階建て校舎は学習院が全寮制だった頃、皇族学生用の寮、別寮として建てられました。その後、教室に改築され現在に至ります。今でも教室として利用されていますが、利用するのは少人数の演習くらいのようです。

別館の近くにはベンチもあります。ひとりで静かに過ごしたい時などに訪れてみてはいかがでしょうか。（平峯さとみ）

本学の年間行事
学年暦

1年間の様々な催し。参加はもちろんのこと、傍観も結構です。では、本学の主な行事をご紹介します。

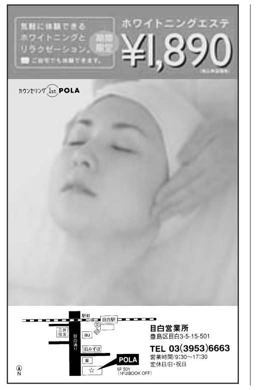
まず、めじろ音楽祭。学内に特設ステージが現れ、初夏のキャンパスはライブ会場へ変身します。

さて、次の四大戦って? と思われる方も多いはず。この行事は4つの大学で行う運動会です。どうぞチームでご出場ください。

そして最後の大学祭は楽しみどころ。参加するに限ります。きっとよい思い出になるでしょう。（明）

平成17年度学年暦

4月12日	授業開始
5月15日	開学記念日（休講）
7月9日	試験準備（休講）
11～16日	学期末試験
7月21日～9月15日	夏季休業
10月17日	開院記念日（休講）
21～23日	四大戦（休講）
11月2～7日	大学祭期間（休講）
12月21日～1月7日	冬季休業
1月19日	試験準備（休講）
1月20日～2月2日	学年末試験
2月3日～3月31日	学年末休講



目白の街をご案内

どうせ食べるなら、本当に美味しいものを味わいたい。そう思うあなたには、大学近くのいい店教えましょう。まずはこんなお店から……。

着て観て食べて！オススメの店

愛情がたっぷり

レフティ

裏通りにひっそりたたずむこの店は、開店以来22年間、地元の人たちに愛だけでなく、ライスと卵のれ続けている。オムライスのボリュームと独自の味付けに定評がある。CAFE・BARレフティだ。

まず、その大きさに驚かされる。大（1000円）、中（900円）、小（800円）極小（750円）のサイズがあり、中サイズでもかなりの量である。たっぷりのサラダも付いてきて、野菜が足りながら若者にも食べ応え抜群。

味付けは、砂糖に生クリーム、まるでお子どもの頃に食べた卵焼きのような甘くクリーミーなのだ。これがライスとマッチして旨い。極小外は味付けを3個でいるのはご玉ねぎとベーコンのみ。玉ねぎが苦手な人でも食べられるようにと、マスターが研究を重ねた結果、ベーコンとのれせたがドライカレー（800円）や鬼ごまをお好きだった方にはたまらないミート・ソースにかけるスパゲッティ（800円）も美味しい。

マスターが作る料理はすべて本格的で、マイルドな味付けがたまらない。ミート・ドライカレー（800円）や鬼ごまをお好きだった方にはたまらないミート・ソースにかけるスパゲッティ（800円）も美味しい。

はもってのこの一品だ。人気の秘密はボリューム。ライスと卵のボリュームは、ライスにこっている人でもペロリ。玉ねぎが苦手な人でもである。

マスターが作る料理はすべて本格的で、マイルドな味付けがたまらない。ミート・ドライカレー（800円）や鬼ごまをお好きだった方にはたまらないミート・ソースにかけるスパゲッティ（800円）も美味しい。

オシャレな店内はオーナーのセレクト

00円）は受場の人気メニューのひとつだ。

よくオムライス専門店と勘違いされることが多いが、本来は洋食屋。3000円コースがお得で、FRENCH DINNERにマスターが腕によりをかけた料理8品（ガリック・トースト、ロースト

ビーフ／牛たたき、生ガキ／カキのオーブン焼き、パスタ、季節のサラダ、ローストチキン、ピザ、オムライス）がお腹いっぱい味わえる。気さくなマスターと80年代のアメリカンポップスを基調にしたオシャレな店内のムードが、楽しい夜のひとときを演出してくれる。

変わらぬ愛情に引き寄せられ、今でも多くの客が集まってくるという。いつまでも青春時代の思い出がたくさん詰まっているのがレフティだ。

定休日：土曜
営業時間：11時半～15時、18時～25時
（祝祭日はランチ休み）
（門村修）

切手の博物館

小さな世界へようこそ

美術館や博物館に行きたいが、どうも敷居が高くて行きづらい。そんな人でも気軽に足を向けられるのが切手の博物館だ。西門前の坂を下って3分のところに位置する。

1階の企画展示に限り、入館料を切手で支払うことができるユニークな館。96年の開館以来、年間約1万3000人が訪れ、年齢層は少年から幅広い。切手の収集といえば一見地味な印象があるが、学芸員の田辺さんは、「今では収集の仕方も様々で、雑貨感覚でカジュアルに集める女性も増えているんです」と話す。

当館では3月ごと生活に身近なテーマを設け、年4回の企画展示を行っている。取材時に開催されていたのは「絵画の巨匠たち」展（写真）。レオナルド・ダ・ヴィンチの「モナリザ」などをはじめ、有名な絵画が切手に変身し一堂に会した。切手という小さなキャンバスに精巧に描かれた絵画を見て回ると、時間は瞬く間に過ぎる。また、古手を使った「貼り絵」という手法で作られたゴッホの自画像も展示されていた。このようにただ飾られるだけではなく、美術品に生まれ変わるという切手の新たな一面も知ることができる。切手の収集量に驚く一方で、美術館としても十分誇れるものだ。「子備知識がない人がふらっと来ても楽しめるのが、当館の魅力と思います」と田辺さん話す。

4月5日からは山岳と登山の手を紹介する「切手と山」魅せられて」展が始まる予定だ。大学の喧騒から離れて、小さな世界を訪れるのも一興だ。

休館日：月曜、展示替時、年末年始
開館時間：10時半～17時（世界の切手ショールームは18時まで）
入館料：大200円、小中学生100円、障害者無料
※毎月第3日曜日「ふれの日」は入館無料（取俊太郎）

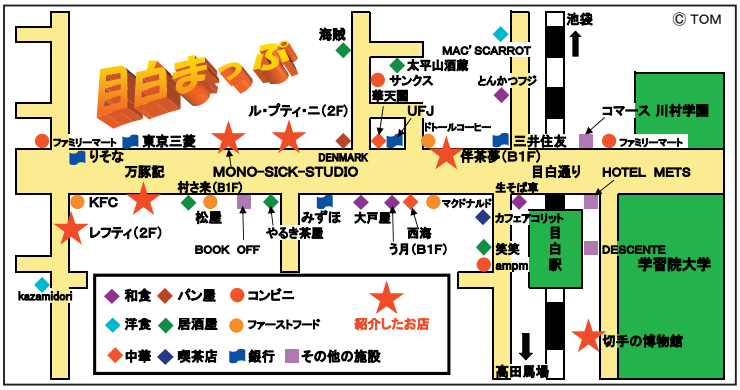
美味しい隠れ家

本格中華を味わう

美味しいケーキで、くつろぎの時間を豊かなものにしてくれる、そんな店がカフェ・ルプティ・ニだ。西門から歩いて5分とかからないその場所には、少しの間、時が広がっている。

毎朝、店内にあるパティシエ出身の奥さんが作るケーキは、どれもが思わず唸ってしまうほどの美味しさだ。

その日のケーキ（写真）を頂いた。ホールの状態で見せられ、ケーキクムムは、「ゆっくりとリラックスできて、その人の青春の



目白を探索していると、ビルの一角に、ポツンと看板がいっぱいに白い豚が描かれた、黄色の目立つ看板が目に留まる。万豚記――東京80年代のアメリカンポップスを基調にしたオシャレな店に何十店舗も店を構え、雑誌にも掲載された中華飯店（922円）と、ゴマをベースとした白ゴマ坦々麺（各920円）。写真の通り、スープが白、あっさりとした黒ゴマ坦々麺（各920円）。写真の通り、スープが白、あっさりとした黒ゴマ坦々麺（各920円）。ゴマの香りが胸いっぱいに広がる。

店内に入ると、左側の壁一面に豚の絵が何匹も描かれている。なかなかシュールな内装である。席数は多くはないが、落ち着いて何でも訪れたくなる雰囲気だ。また気軽に入れる印象。

鬼ず、実際、一人で訪れる女性も多い。ちなみに取材時も女性一人で来店している。

ここの名物は、トマトを使用した辛味の利いた赤玉麺（922円）だ。ゴマを使っている。食べると健康になるほどゴマだらけ。ゴマの力はすごいと、往年すべき逸品だ。

だが、往年すべき逸品だけではない。他にもチャーハン、一品料、あんかけ

万豚記

MONO-SICK STUDIO

オシャレを楽しもう

渋谷や新宿など、本学はショッピングに適した街に近い。しかし気に入った洋服などを探すとなると、とても手が届かない値段であるのも事実。そこで手頃な値段で、かわいい個性的なものが手に入る店としてMONO-SICK-STUDIOを紹介したい。ここはメインとなる洋服の他、バッグや靴、アクセサリー、また東洋風な雑物やお客さんも揃えてあり、どことなくエスニックな雰囲気が漂っている。

まず店に入って驚くのは個性豊かな洋服が目白通りの1Fにあり、どことなくエスニックな雰囲気が漂っている。

まず店に入って驚くのは個性豊かな洋服が目白通りの1Fにあり、どことなくエスニックな雰囲気が漂っている。

店内はどこはないが、品数がとても多いことだ。他の店ではなかなか見つけられないような素敵なものばかりで、選ぶのに迷ってしまう。まシンプルなものもあり、それらを組み合わせるのも楽しい。店内にはコーディネートされたディスプレイもあるので、何度来ても新鮮だ。そのため4～月の間、値段の高い時期は過ぎたものの、何度来ても新鮮だ。そのため4～月の間、値段の高い時期は過ぎたものの、何度来ても新鮮だ。そのため4～月の間、値段の高い時期は過ぎたものの、何度来ても新鮮だ。そのため4～月の間、値段の高い時期は過ぎたものの、何度来ても新鮮だ。そのため4～月の間、値段の高い時期は過ぎたものの、何度来ても新鮮だ。そのため4～月の間、値段の高い時期は過ぎたものの、何度来ても新鮮だ。そのため4～月の間、値段の高い時期は過ぎたものの、何度来ても新鮮だ。そのため4～月の間、値段の高い時期は過ぎたものの、何度来ても新鮮だ。

ル・プティ・ニ

思い出の1ページをつくれるような店でありたい」と回好評を博している。他にも、クリスマスやバレンタインの時期にはジャズライブなどを行っていこうと、ご飯ながら取り揃えられている。さらに種類がとても多くて、ラーメンを食べるのはちょっと恥ずかしい、という女性でも安心して来店できる。

営業時間：11時半～26時
（山田絵美）

伴茶夢

こだわりの一杯

珈琲専門店伴茶夢――その独特な名前で知っている人も多いだろう。その昔、アラビア人はコーヒー豆も、その樹のこともバンと呼び、その飲み物をハンヤムと呼んだという（日本最古のコーヒー文献『毛吉記』）。伴茶夢とは、この店のコーヒーを飲みながら楽しみ、夢を語り合っていただきたいという願いを込めて名付けられたそうだ。

開店以来30年、コーヒー豆は手で挽れるというのがこの店のこだわりだ。豆を挽いた粉に沸騰を加えて布のフィルターで抽出するネルドリップ式と、蒸気圧を利用して抽出するサイフォン式、店長の一押しはネルドリップ式で淹れるキングマーサーとコールテンの2つのブレンドコーヒー（各400円）、キングクーサーはクッキングのかな甘みに変わって、飲み応えがあり、深い味わいにリピーターも多い。一方のコールテンはキレのある爽やかな酸味が特長だ。

この店で最非味わって欲しいのが、アイスコーヒーをベースにしたカフェクレーン（600円）だ。アイスクリームと生クリームがトッピングされており、飲みながらの、まずコーヒーの豊かな香りが口いっぱいに広がり、アイスのなめらかな口ざわりの良さに驚く。そしてほんのりとした甘さと絶妙な後味を残して喉の奥へと消えていくのだ。

その他にも、この店では世界各国のストレートコーヒーが味わえる。加えて店で使用しているコーヒー豆はすべて購入することが可能だ（100g 350円）。おすすめにお好みに応じて挽いてくれるので、自宅でも手軽に専門店の味を楽しむことができる。

定休日：なし
営業時間：8時～22時半
（モーニング8時～11時）
（門村修一）